

# ダイイチタイムス

ダイイチタイムス  
第79号  
令和5年3発行



いつもお世話になっています。ダイイチ企業副社長の小川貴広です。「プラスチック資源循環促進法」いわゆる新プラ法が4月に施行され、ほぼ一年が経とうとしています。すでにプラスチックの廃棄物を適正に処理する責任がありますが、新しい法律は、さらに踏み込んでプラスチック使用製品産業廃棄物などの排出の抑制・再資源化などを求めています。そのような背景もあって、排出元の皆様からも廃棄物に対する処理または活用方法の問い合わせが増えてきています。ダイイチ企業においては、資源循環の高度化を図り、お客様の課題解決の一助となりますよう、取り組みを強化して参ります。引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

## 木くず処理現場



## 木くず処理の行方

搬入された木くず。どのように処理されていくのか気になる！！ということで今回は木くず処理現場に密着レポートです。



木くずが搬入されました。いつもありがとうございます！



搬入された木くずはこの様な状態です。



重機を使い破砕機で処理出来るように細かく砕きます。



砕いた木くずをもう一つの重機で破砕機のベルトコンベアに載せます。



木くずが破砕機に入り細かく砕かれていきます。



木くずチップに金属が混ざらないよう磁選機で取り除きます。



取り除かれた金属です。



破砕してもまだサイズが大きな木くずは再び破砕機に戻っていきます。



無事に木くずチップに姿を変えた木くずが流れるコンベアです。



きれいな木くずチップになりました！



丹精込めて出来あがった木くずチップを積み込みます。



燃料として使用されるため運ばれていきます。目指せ！リサイクル100%！

いつも元気な声であいさつしている橋本さん。こちらまで元気な気持ちになります。競馬が息抜きだそうです(^^)



砕いた木くずを重機で破砕機に投入する業務を主にしています。磁選機では分けられない非鉄物を事前に取り除くよう注意しています。また、破砕機をきちんと掃除したり部品交換をするなどメンテナンスを常に心がけ破砕機を大切にしています。

主な担当は、木くずを重機で破砕することです。現場の管理もしているので安全面にも注意をしています。また、粉塵が多ならないよう気を配っています。一日の作業終わりにほうきで掃くなど整理整頓も行っています。搬入量が多かった時にやり過ぎた時や、木くずチップの排出先でチップの品質が良いと言って頂けた時にやりがいを感じます。

皆の良き兄貴御所園さん。周りは笑いであふれています。休日は家族で映画や買い物を楽しむそうです。



# 産業廃棄物業界を熱く語ります！



今回は私イチコが長谷川専務に産業廃棄物業界についてインタビューしていきます。



**イチコ(以下イ):** 産業廃棄物業界の現状について教えてください。

**長谷川専務(以下長):** 産業廃棄物の発生量はピークだった1990年代の412,000千トンから比べると減少傾向にあって、2021年には392,000千トンまで減っています。この要因は世界的に地球環境問題が注目される中、日本でも2000年にリサイクルに関する法律を定め、当時の総理大臣小泉純一郎氏が3R(リデュース:廃棄物の発生抑制 リユース:再使用 リサイクル:再資源化)を世に知らしめたことにあります。

**イ:** 3Rの他にサーキュラーエコノミー(循環経済)という言葉も最近耳にするのですが。

**長:** サーキュラーエコノミーとは経済活動の中で廃棄されていた製品や原材料などを資源と考えリサイクル、再利用などで活用し資源を循環させる経済システムです。

**イ:** なるほど！3Rやサーキュラーエコノミーの施策の効果で廃棄物の削減やリサイクル処理技術向上につながっていったのですね！

**長:** その通りです。しかし他にもまだ改善されていない課題があります。何か分かりますか？

**イ:** 地球温暖化とかですかね・・・？

**長:** そうですね。CO2排出量の削減が課題になっています。「カーボンニュートラル」これは2050年までにCO2の排出量を実質ゼロにするという世界に向けた目標ですが、地球温暖化を防ぐために必要なことですね。ですが実現するためには行政の施策と全産業による取り組みが必要です。

**イ:** 現在どんな取り組みがされているのですか？

**長:** 自動車業界はハイブリットやEVを作り、エネルギー業界は再生可能エネルギーを作り出しています。製造業は工場から出た廃棄物を再び原料に戻す計画を実現していますし、住宅メーカーからゼロエネルギーハウスなど、あらゆる産業がカーボンニュートラルに向けた取り組みを始めています。

**イ:** 色々な取り組みがあるんですね。ダイイチ企業ではどのような取り組みをしているのですか？

**長:** 火力発電で使用される燃料は石炭ですが、その代替燃料となる木くずチップを産業廃棄物から生産し供給しています。木は成長過程のなかで光合成により大気中のCO2を吸収しています。バイオマス発電で木を燃やしても吸収と排出でプラス・マイナスゼロになり、CO2の総量は変化しないということになります。これがカーボンニュートラルの取り組みです。また、廃棄物の処理方法として埋立処理がありますが、埋立処分場には限りがあります。ダイイチ企業は可能な限りリサイクル処理を行うことで持続可能な循環型社会の形成に取り組んで参ります。

**イ:** 今日のお話をきっかけに私もリサイクルについて考えていきたいと思いました。ありがとうございます。

## 仕事人川柳～ダイイチ企業編～



ダイイチ企業社員による仕事をテーマにした川柳大会を開催しました。44の応募作品から投票により選ばれた作品がこちらです！次回開催までに腕を上げておきますのでお楽しみに！

産廃の  
奥が深いよ

日々勉強  
山本 綾香

知り合いだ！  
手を振ってみれば  
知らぬ人

河野 佐知子

明日やる！  
明日やれるとは  
限らない

加藤 みどり

最優秀賞

これくらい  
慣れてくると  
要注意

池田 裕哉

コロナ禍で  
負けず高まる  
結束力

庄司 真

ISO14001認証取得 優良産廃処理業者認定

**DAIICHI** 有限会社 **ダイイチ企業**

**ECONOS**  
GROUP



〒739-1521 広島市安佐北区白木町三田字小椿1521-3  
Tel 082-829-1270 Fax 082-829-1283

社員数：49名 車両数26台

<http://www.daiichi-kigyo.co.jp>



<http://www.kaitai-hiroshima.com>

営業時間：AM8:00～PM5:00 日・祝・第3土曜定休

### ★編集後記★

ダイイチ企業の長谷川です。2022年度も残り一ヵ月となりました。1、2、3月は本当に早いですね。新型コロナについては、3/13からマスク着用が個人判断となり、来年度5月からは分類が5類に引き下げられます。またG7サミットやインボイスなどもあります。しっかりと対応し、安全安心をご提供すべく、廃棄物のリサイクルに真面目に取り組んで参ります。

